

コニカミノルタ株式会社
2016年度第1四半期

決算説明会

常務執行役 畑野 誠司

2016年7月28日

		16年度1Q	前年比		為替影響	実質増減*
売上高		2,291億円	△ 195億円	-8%	△ 238億円	+2%
営業利益		89億円	△ 11億円	-11%	△ 32億円	+20%
当期利益		63億円	△ 3億円	-5%	-	-
為替レート	USドル	108.14円	-13.22円	-11%	-	-
	ユーロ	122.02円	-12.14円	-9%	-	-

*為替控除後の対前年比

- 売上高は、円高影響及び産業用材料・機器の販売減により前年比減収。但し、ヘルスケアは買収効果もあり増収。情報機器は為替除いて実質増収。
- 営業利益は、産業用材料・機器での販売減を主因に減益。情報機器は新製品効果で売上総利益率改善、円高影響をのみ込み前年水準確保。ヘルスケアは僅かながら増益。
- 産業用材料・機器が想定以上に厳しく、業績見通しを修正。

2016年度第1四半期 全社業績要約

【億円】

	16年度 1Q	15年度 1Q	YoY
売上高	2,291	2,486	-8%
売上総利益	1,143	1,197	-5%
(売上総利益率)	49.9%	48.2%	-
営業利益	89	100	-11%
(営業利益率)	3.9%	4.0%	-
税引前利益	85	104	-18%
(税引前利益率)	3.7%	4.2%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	64	66	-3%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	2.8%	2.7%	-
FCF	△ 252	△ 211	
為替レート [円] USD	108.14	121.36	△ 13.22
euro	122.02	134.16	△ 12.14

2016年度第1四半期 セグメント別売上高・営業利益

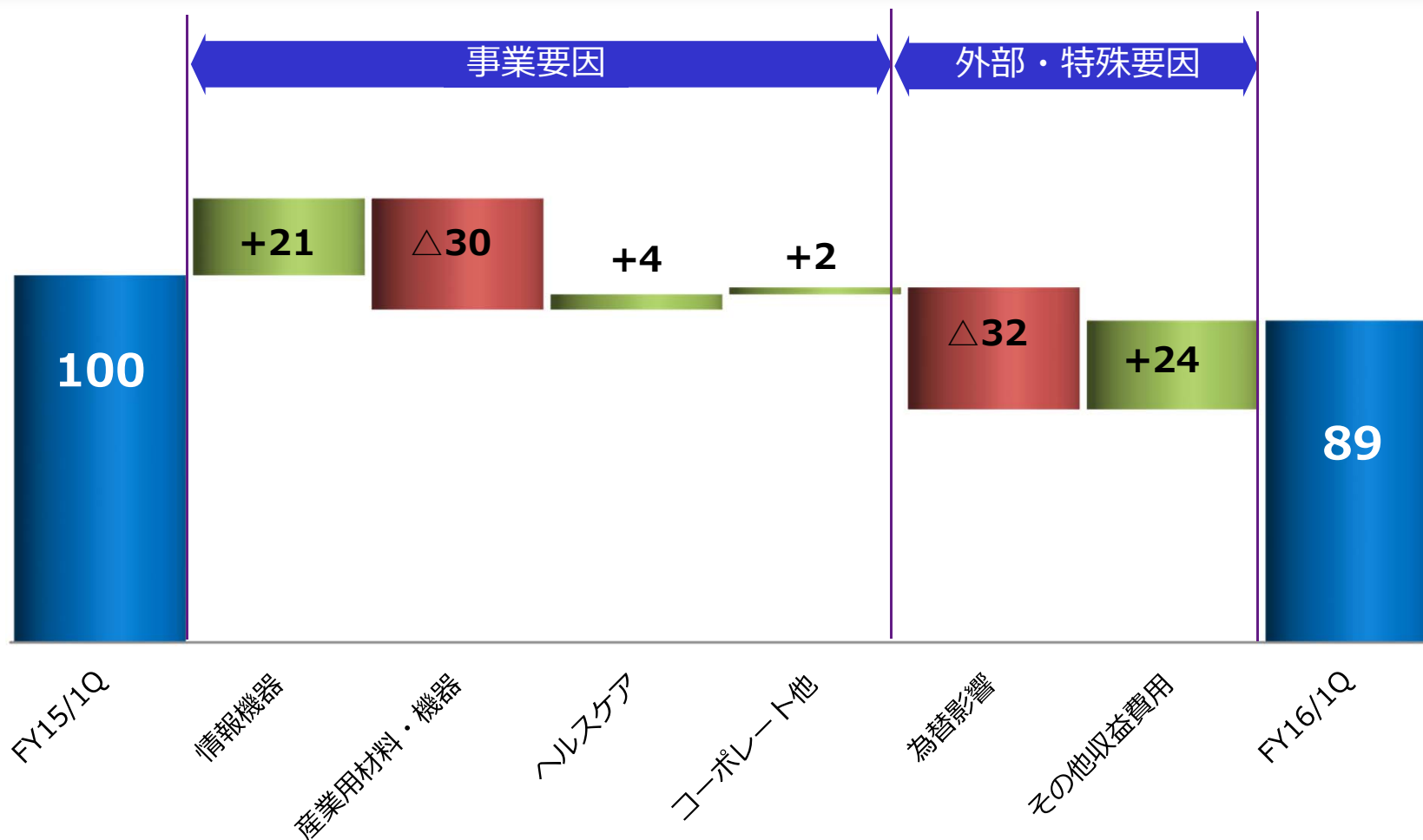
【億円】

売上高	16年度 1Q	15年度 1Q	YoY
情報機器	1,863	2,018	-8%
オフィスサービス	1,362	1,485	-8%
商業・産業印刷	501	533	-6%
ヘルスケア	185	179	3%
産業用材料・機器	217	282	-23%
産業用光学システム	123	131	-7%
機能材料	95	151	-37%
コーポレート他	26	7	-
グループ全体	2,291	2,486	-8%

営業利益 (右側：営業利益率)	16年度 1Q	15年度 1Q	YoY
情報機器	133 7.2%	133 6.6%	1%
オフィスサービス	107 7.9%	110 7.4%	-3%
商業・産業印刷	26 5.3%	23 4.3%	15%
ヘルスケア	2 1.0%	1 0.7%	53%
産業用材料・機器	23 10.7%	59 20.8%	-60%
コーポレート他	△ 70	△ 92 -	-
グループ全体	89 3.9%	100 4.0%	-11%

2016年度第1四半期 営業利益 前年比増減

【億円】

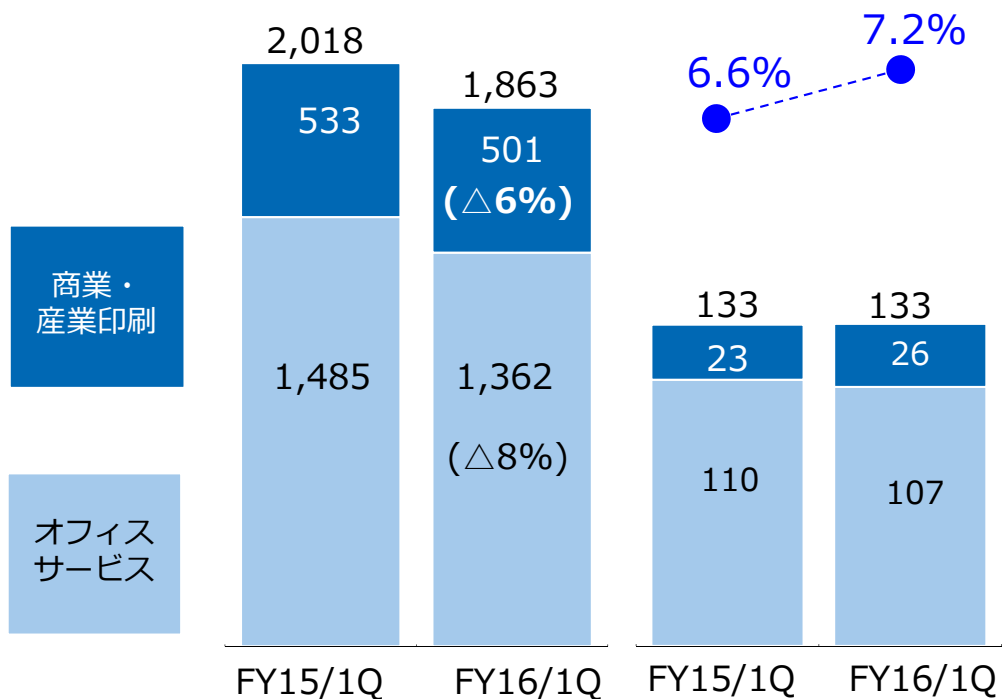


- 情報機器：オフィスカラー新製品効果により増益。
- 産業用材料・機器：機能材料等の販売減により減益。
- ヘルスケア：海外中心にデジタル機器の販売伸長により増益。

- 売上高： 1,863億円 8%減収（為替影響：△216億円、実質増減：3%増収）
 - カラー製品が先進国を中心に好調モメンタム継続も、円高影響により減収。
- 営業利益： 133億円 +0億円（為替影響：△27億円、実質増減：+21%増益）
 - 新規連結等による販管費増を新製品効果・製品構成好転で吸収、前年並み利益確保。

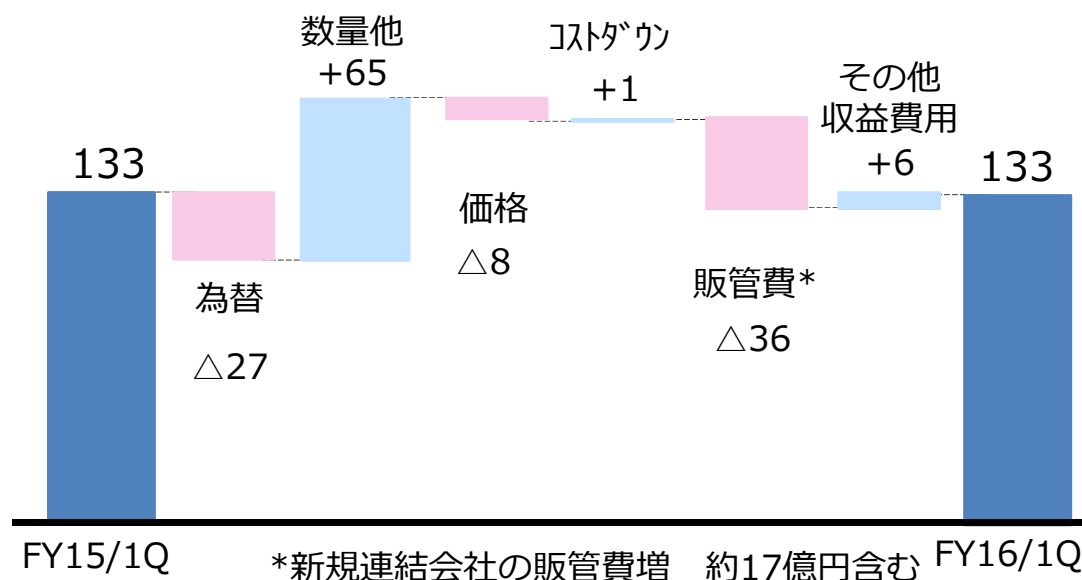
売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 ●営業利益率 【億円】



営業利益 対前年増減分析

【億円】

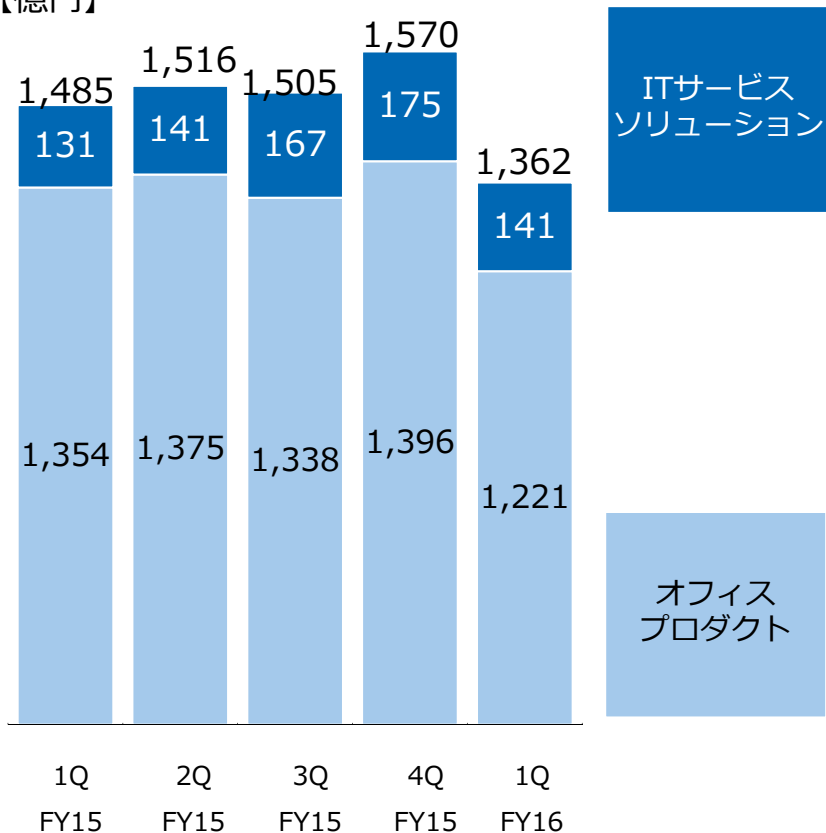


情報機器事業： オフィスサービス分野の状況

- 売上高： 1,362億円 8%減収 (為替影響： △151億円、実質増減： 2%増収)
- 営業利益： 107億円 3億円減益 (為替影響： △20億円、実質増減： +15%増益)
- A3カラーMFPの上位機種が先進国市場で堅調

売上構成四半期推移

【億円】



売上高

141億円

前年比 +8%

1Q 概況

- ✓ 新規連結効果に加え、米/仏/チェコなどハイブリッド販売先進事例を他地域に拡大

1,221億円

前年比 △10%

- ✓ 欧米中心にA3カラーセグメント4/5*の販売堅調

- ✓ 中国では、有力金融機関やエネルギー関連の大手企業より新規大型契約を獲得。欧州も新規案件が着実に増加。

OPS 196億円
前年比+6%

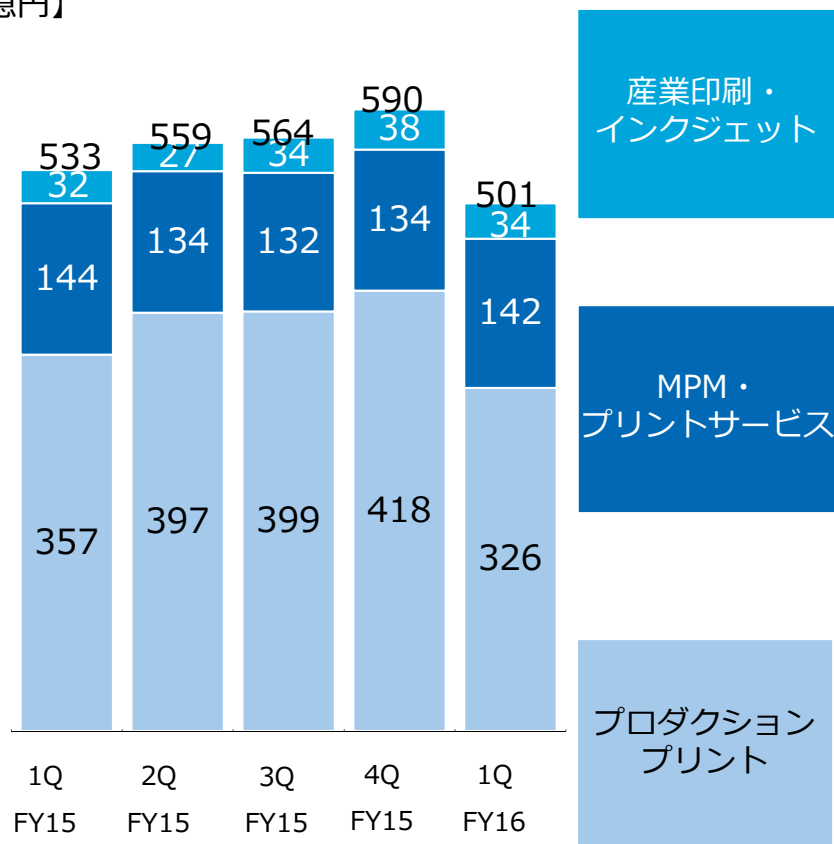
GMA 62億円
前年比△5%

*セグメント4: 毎分45~69枚A4紙を印刷する出力機器
セグメント5: 毎分70~90枚A4紙を印刷する出力機器

- 売上高： 501億円 6%減収 (為替影響：△64億円、実質増減：6%増収)
- 営業利益： 26億円 3億円増益 (為替影響：△6億円、実質増減：+40%増益)
- 最上位モデルが販売モメンタムを維持し、消耗品の売上伸張が増益に貢献。

売上構成四半期推移

【億円】



売上高

34億円
前年比 +7%

142億円
前年比 △1%

326億円
前年比 △9%

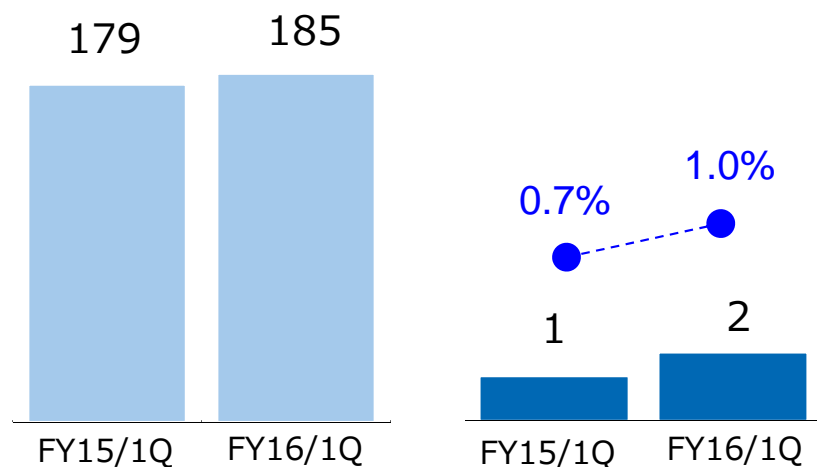
1Q 概況

- ✓ コンポーネントは欧米と価格維持で円高影響を補う
- ✓ インクジェットデジタル印刷機の新製品「AccurioJet KM-1」販売開始
- ✓ 欧州では既存大手顧客中心に収益拡大
- ✓ 「bizhub PRESS C1100」が日米中心に各地域で好調
- ✓ 消耗品の売上伸張も復調の傾向

- ▣ **売上高**： 185億円 3%増収 （為替影響：△13億円、実質増減：11%増収）
 - 買収効果もあり海外売上が拡大し増収。特にデジタル売上が伸長。
- ▣ **営業利益**： 2億円 1億円増益 （為替影響：△4億円）
 - デジタル製品の販売増により、円高影響を受けるも前年水準を上回る。

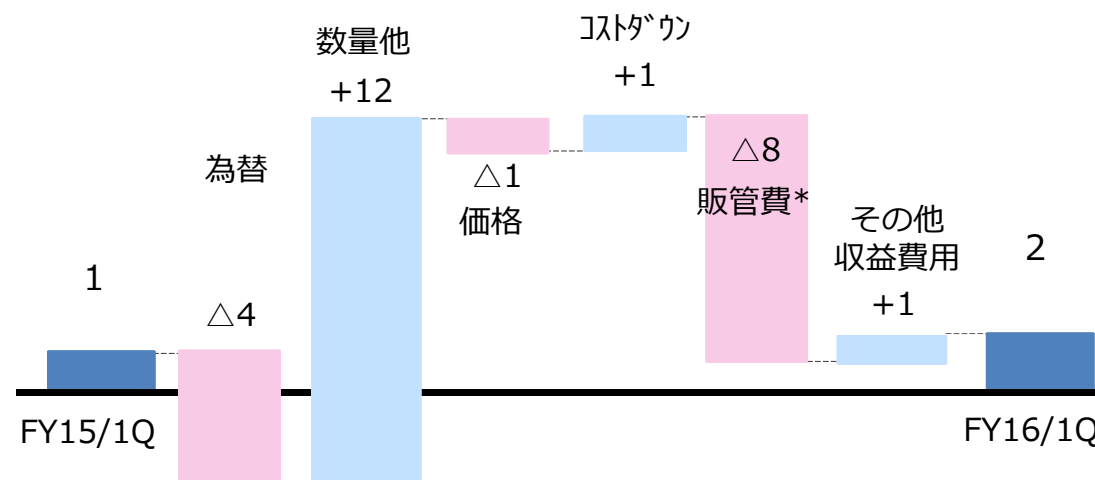
売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 ●営業利益率 【億円】



営業利益 対前年増減分析

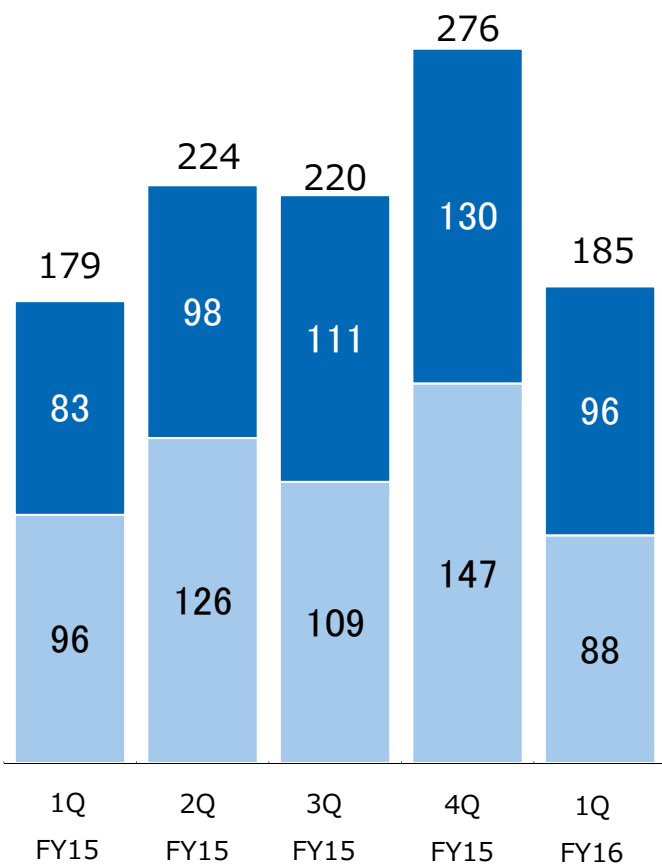
【億円】



*組織再編に伴う販管費増 約2億円含む

売上構成四半期推移

【億円】



売上高

96億円
前年比 +17%

デジタル

88億円
前年比 △8%

アナログ・その他

1Q概況

- ✓ 「AeroDR」が米国を中心に販売拡大
- ✓ 超音波画像診断装置「SONIMAGE HS1」が国内を中心に販売数を倍増
- ✓ 医療ITサービスは米国での買収効果もあり売上堅調。

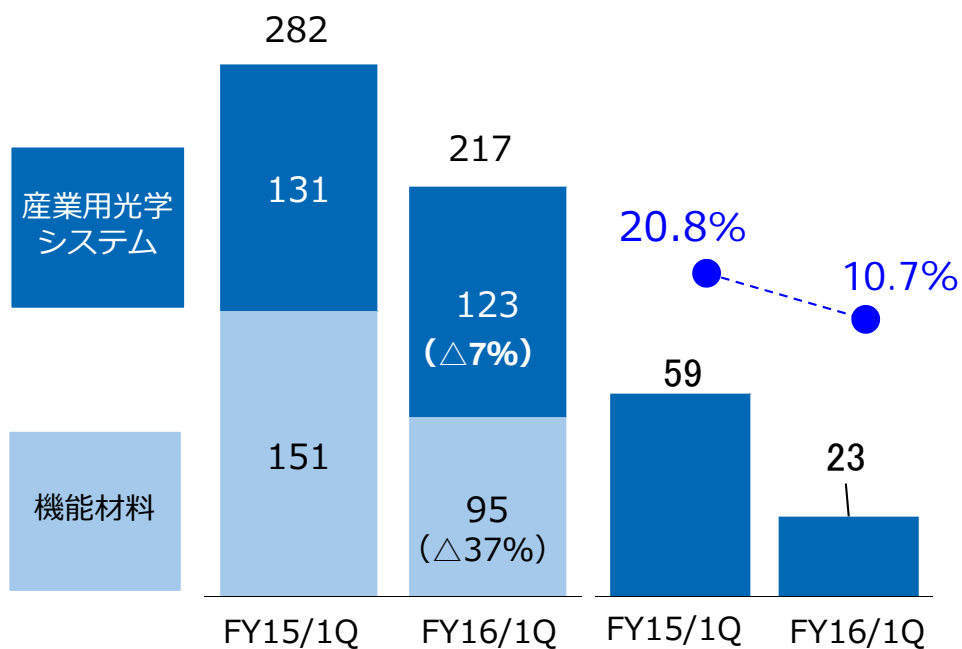
- ✓ デジタルシフトに伴い、売上減少。

※ デジタル：X線撮影装置(DR,CR)、超音波診断装置、医療ITなど。
アナログ・その他：フィルム、イメージャー、仕入れ商材、など

- **売上高：** 217億円 23%減収 （為替影響：△11億円、実質増減：19%減収）
 - 産業用光学システムは、計測機器が堅調も、産業・プロ用レンズが振るわず減収。
 - 機能材料は、TACフィルムの販売減により減収。
- **営業利益：** 23億円 36億円減益 （為替影響：△1億円、実質増減：△58%減益）
 - 両分野での売上減少等に伴い減益。

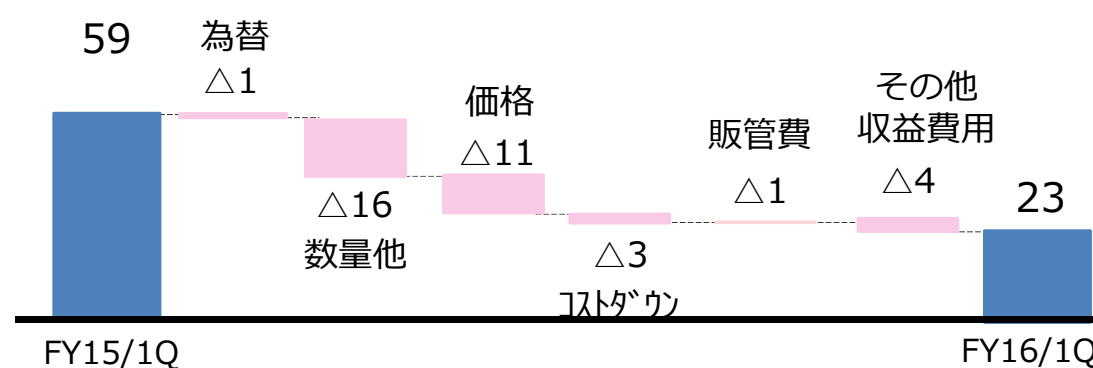
売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 ●営業利益率 【億円】



営業利益 対前年増減分析

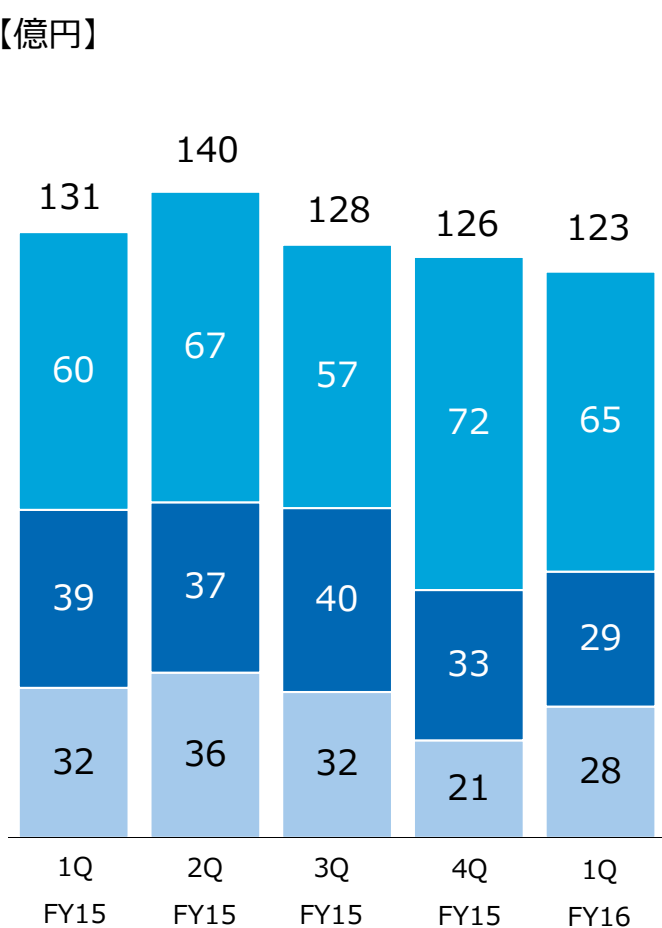
【億円】



□ 売上高： 123億円 7%減収 (為替影響：△11億円、実質増減：2%増収)

売上構成四半期推移

【億円】



売上高

65億円
前年比 +8%

計測機器

29億円
前年比 △24%

産業・プロ用
レンズ

28億円
前年比 △12%

その他

1Q概況

✓ 買収したRadiant社も加わり、引き続き堅調

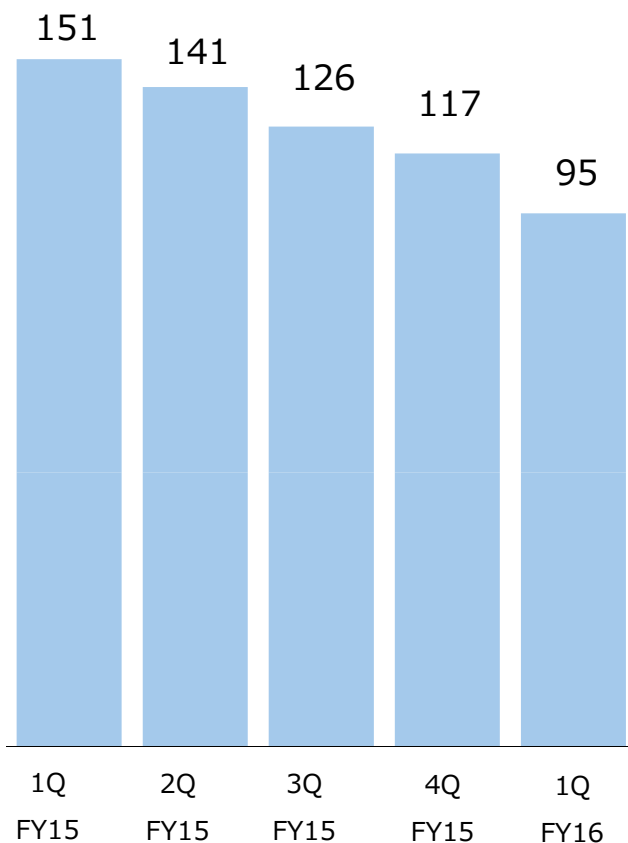
✓ 市場の在庫調整による需要減で、販売数量減少

✓ コンパクトデジタルカメラ用レンズの販売数量減少

□ 売上高： 95億円 37%減収 (為替影響：△0億円)

売上構成四半期推移

【億円】



■ FPD向けフィルム

- ・ 大型パネル用
- ・ 中小型パネル用

- ✓ ディスプレイ製品の販売減速の影響が1Q前半まで残り、販売数量が減少
- ✓ QWPフィルム量産工場は予定通り竣工、販売は順調。

■ その他フィルム

- ・ ウィンドウ
- ・ バリアフィルム
- ・ プレシジョンフォトプレート
- ・ 素材

- ✓ プレシジョンフォトプレートでは、高精細クロムマスクライター用乾板を上市*

* 電子部品の製造工程で使用されるパターン原版

1Q概況

2016年度第1四半期 トピックス

インクジェット・デジタル印刷機「AccurioJet KM-1」発売開始

商業印刷領域のハイエンド市場で本格的に事業を展開

オフセット印刷に匹敵する高画質B2インクジェット印刷機を小森コーポレーションと共同開発

小森コーポレーション

- 商業印刷におけるオフセット印刷品質への拘り
- 大判印刷本紙の搬送技術

コニカミノルタ

- 高度なインクジェット技術
- 独自のプロセス技術

優位性

- 高画質：濃度が高く、シャープな画像による優れた文字再現性
- 生産性：最大サイズで、3,000枚/時、短納期化に貢献する自動両面印刷対応
- 安定性：長時間の連続稼動でもバラつきの少ない 高い色再現
- 多様性：薄紙からパッケージ用の紙まで幅広い紙厚の用紙に対応



高精度インクジェットヘッド



AccurioJet KM-1

MGI社（仏）へ追加出資、当社グループの傘下に

ラベル、パッケージなど産業印刷領域で本格的に事業展開

大手印刷顧客を知り尽くした知見、洞察に基づくイノベティブなデジタル印刷機メーカー

顧客提供価値	印刷物の付加価値を高めるデコレーション印刷をデジタルで小部数から可能にする
市場環境	人口増で増えるラベル、パッケージ領域でのデコレーション印刷の需要は高い
MGI社の強み	印刷業の経験、知見から潜在顧客ニーズを捉えた他社に先駆けた迅速な商品化
売上高	約34Mユーロ（14年度）
出資金額	約100億円 出資比率 40%超へ（当初10%）



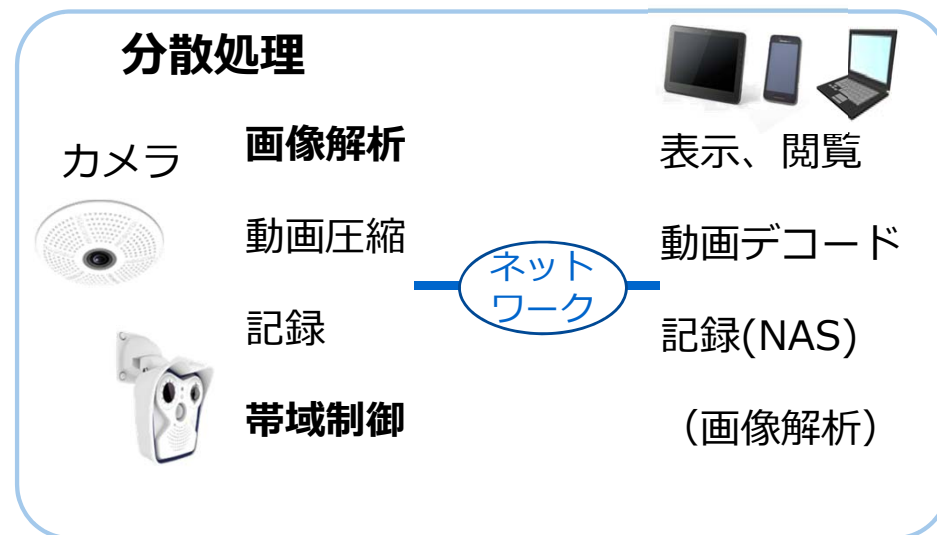
Jet Varnish 3DW



当社の技術とMOBOTIX社の技術を融合した新規ソリューションの事業化を加速

堅牢な監視カメラと独自の分散処理型のビデオマネジメントソフトウェア（VMS）のメーカー

ハード	モーター駆動レスで堅牢かつメンテナンス性に優れた監視カメラ
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の圧縮技術(MxPEG) ・分散処理による確実な映像確認と保存
顧客対応力	製造/交通/教育などで大口顧客獲得
売上高	約80Mユーロ（2015年9月期）
投資金額	約210億円



社会課題として顕在化し、市場としても有望な領域に優位性の高いソリューションで参入

ソリューション	顧客価値	市場ポテンシャル
ハイセキュリティ	・セキュリティレベル向上と監視ワークフロー効率化	約1.6兆円、年率17%成長
ケアサポート	・介護現場のワークフローを変革、業務負荷を軽減	約3兆円、年率11%成長
ガス検知	・ガス可視化により保守ワークフローを効率化	約2,000億円 (未開拓市場)

2016年度業績見通し

		今回予想(7/28)	前回予想(5/12)	前回比	
売上高		10,300億円	10,600億円	△ 300億円	-3%
営業利益		550億円	660億円	△ 110億円	-17%
当期利益		360億円	440億円	△ 80億円	-22%
為替レート	USドル	105円	105円	±0円	-
	ユーロ	115円	120円	△5円	-4%
1株当たり配当		30円	30円	±0円	-
連結配当性向		41%	34%	-	-

- 円の為替レート先高を懸念、為替前提を[ドル=105円、ユーロ=115円]に見直す。加えて、ドル、ユーロ以外の為替影響も織り込む。
- 産業材料・機器事業の市場環境の厳しさを織り込む。
- 営業利益が減益に転ずるも、当期利益は前年比13%増益維持。
- 配当予想は、[年間:30円/1株、中間・期末:15円]を据え置く。

2016年度業績見通し 前回予想からの変化

	売上高	営業利益	当期利益	織込みリスクなど
前回予想 (5/12)	1兆600億円 (+3%増収)	660億円 (+10%増益)	440億円 (+37%増益)	為替前提： ドル=105円、ユーロ=120円
(-) 為替影響	△200億円	△60億円		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対ユーロ前提を5円円高に見直す ・ ドル、ユーロ以外の為替影響増大 →情報機器事業の業績見通しに織り込む
(-) 事業要因	△100億円	△50億円		<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能材料：TACフィルム市場構造の変化速度読み違い ・ 産業光学：スマホ関連市況、設備投資停滞、熊本地震の影響等 →産業用材料機器事業の業績見通しに織り込む
合計	△300億円	△110億円	△80億円	
今回予想 (7/28)	1兆300億円 (前年並み)	550億円 (-8%減益)	360億円 (+13%増益)	為替前提： ドル=105円、ユーロ=115円

2016年度業績見通し セグメント別売上高・営業利益

【億円】

売上高

	16年度 今回予想(7/28)	16年度 前回予想(5/12)	15年度 実績	YoY
情報機器	8,100	8,300	8,322	-3%
オフィスサービス	5,750	5,850	6,076	-5%
商業・産業印刷	2,350	2,450	2,246	5%
ヘルスケア	1,000	1,000	899	11%
産業用材料・機器	1,150	1,250	1,060	8%
産業用光学システム	580	630	525	10%
機能材料	570	620	535	7%
コーポレート他	50	50	37	-
グループ全体	10,300	10,600	10,317	0%

営業利益（右側：営業利益率）

	16年度 今回予想(7/28)	16年度 前回予想(5/12)	15年度 実績	YoY
情報機器	620 7.7%	680 8.2%	702 8.4%	-12%
オフィスサービス	445 7.7%	- -	542 8.9%	-18%
商業・産業印刷	175 7.4%	- -	160 7.1%	9%
ヘルスケア	50 5.0%	50 5.0%	39 4.3%	28%
産業用材料・機器	170 14.8%	220 17.6%	170 16.1%	0%
コーポレート他	△290	△290	△311	-
グループ全体	550 5.3%	660 6.2%	601 5.8%	-8%

主な通貨の為替レートと収益影響度

(為替レート：円)	15年度 1Q実績	16年度 1Q実績	対前年影響額 (売上高 営業利益)	15年度 実績	16年度 (2Q～)	対前年影響額 (売上高 営業利益)	為替感応度*2 (売上高 営業利益)
	米ドル	121.36	108.14	△96億円 △0億円	120.14	105.00	△420億円 0億円
ユーロ	134.16	122.02	△51億円 △22億円	132.58	115.00	△270億円 △140億円	17億円 8億円
欧州通貨*1	-	-	△94億円 △25億円	-	-	△440億円 △210億円	27億円 12億円
人民元	19.56	16.53	△18億円 △2億円	18.85	15.30	△90億円 △5億円	24億円 2億円
豪ドル	94.36	80.57	△15億円 △3億円	88.44	75.80	△50億円 △10億円	4億円 1億円
その他通貨	-	-	△15億円 △3億円			△50億円 △20億円	-
対前年影響額 合計		売上高: △238億円 営業利益: △32億円			売上高: △1,050億円 営業利益: △250億円		

*1欧州通貨：ユーロ以外の欧州通貨も含む

*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

補足情報

2016年度第1四半期 全社業績要約

	16年度 1Q	15年度 1Q	YoY	【億円】
売上高	2,291	2,486	-8%	
売上総利益	1,143	1,197	-5%	
(売上総利益率)	49.9%	48.2%	-	
営業利益	89	100	-11%	
(営業利益率)	3.9%	4.0%	-	
税引前利益	85	104	-18%	
(税引前利益率)	3.7%	4.2%	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	64	66	-3%	
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	2.8%	2.7%	-	
E P S (円)	12.89	13.19		
設備投資額	79	78		
減価償却費及び償却費	127	125		
研究開発費	183	193		
FCF	△ 252	△ 211		
投融資	323	90		
為替レート [円] USD	108.14	121.36	△ 13.22	
euro	122.02	134.16	△ 12.14	

【億円】

前年同期比較 (FY16/1Q vs. FY15/1Q)	情報機器	ヘルスケア	産業用 材料・機器	合計
	[要因]			
為替影響	△ 27	△ 4	△ 1	△ 32
価格変動	△ 8	△ 1	△ 11	△ 20
数量増減他	65	12	△ 16	75
コストダウン	1	1	△ 3	△ 1
経費増減	△ 36	△ 8	△ 1	△ 57
その他 収益費用	6	1	△ 4	24
[営業利益]				
増減額 (YoY)	1	1	△ 35	△ 11

販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

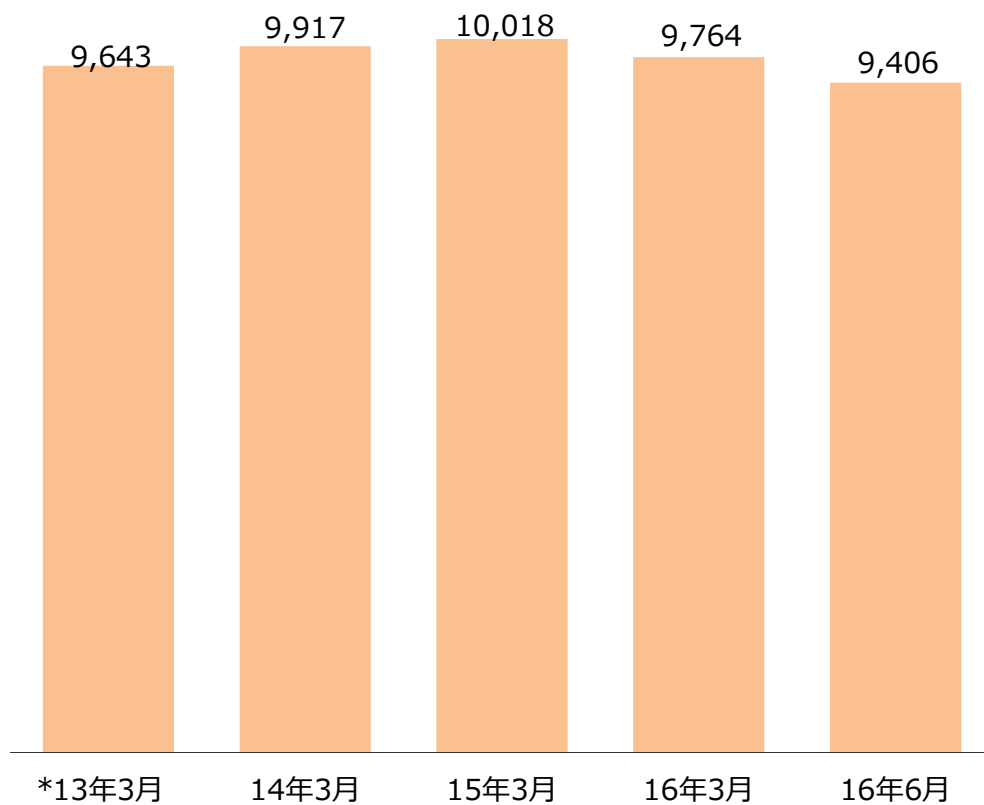
	16年度 1Q	15年度 1Q	YoY	【億円】
販売管理費				
販売変動費	121	124	△ 2	
研究開発費	183	193	△ 10	
人件費	483	490	△ 7	
その他	266	265	1	
販売管理費 計	1,052	1,071	△ 19	
	*為替影響額：△76億円（実質増減 +57億円）			
その他の収益				
有形固定資産売却益	1	2	△ 1	
その他収益	13	6	7	
その他の収益 計	13	7	6	
その他の費用				
有形固定資産除売却損	1	3	△ 2	
退職特別加算金	-	20	△ 20	
その他費用	14	10	4	
その他の費用 計	15	33	△ 18	
金融収支				
受取利息・受取配当金-支払利息	0	1	△ 1	
為替差損益	△ 3	3	△ 6	
その他	△ 0	△ 1	0	
金融収支 計	△ 3	4	△ 7	

2016年度業績見通し 全社業績要約

【億円】

	16年度 業績見通し	16年度 前回公表	15年度 実績	YoY
売上高	10,300	10,600	10,317	0%
営業利益	550	660	601	-8%
(営業利益率)	5.3%	6.2%	5.8%	
税引前利益	535	645	580	-8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	360	440	320	13%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.5%	4.2%	3.1%	
EPS (円)	72.60	88.80	64.39	
ROE* (%)	7.2%	8.7%	6.5%	
設備投資額	500	500	526	
減価償却費及び償却費	500	500	513	
研究開発費	780	780	763	
FCF (16年度予想は投融資を含めない)	390	500	△ 515	
*投融資(16年度の計画)	500	500	682	
為替レート [円] USD	105.00	105.00	120.14	
euro	115.00	120.00	132.58	

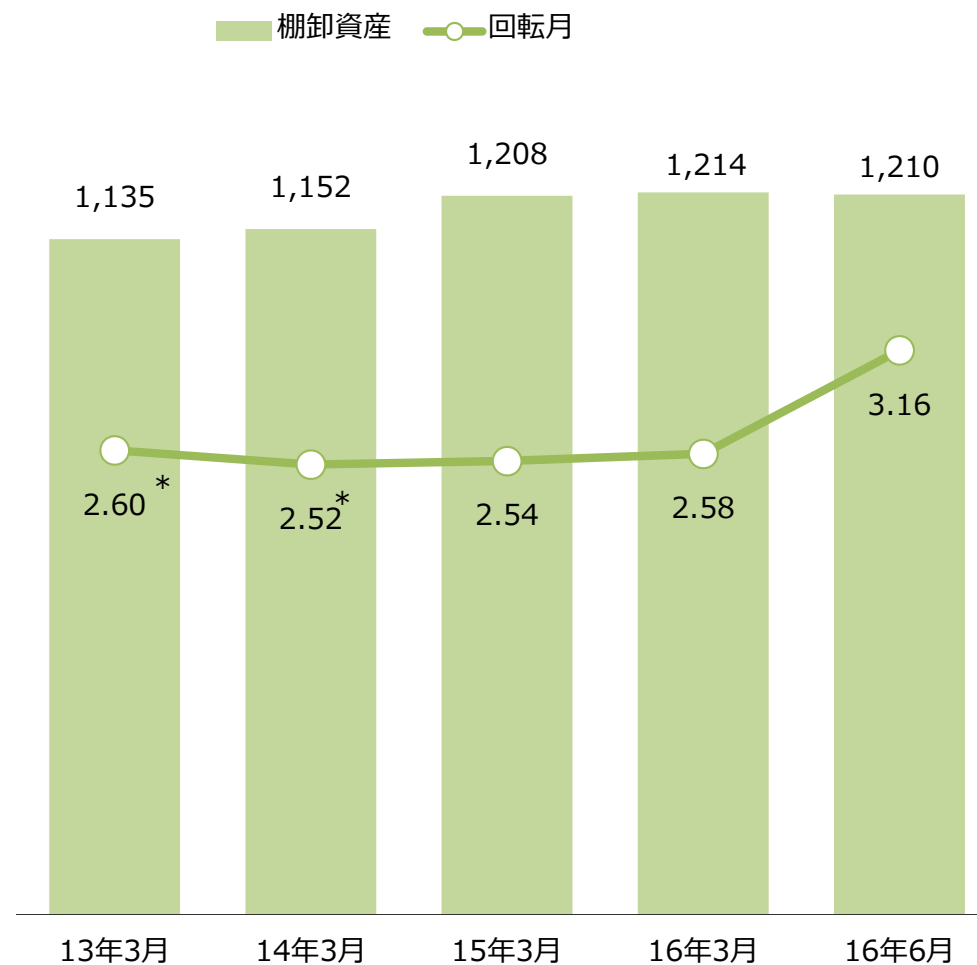
資産合計（総資産）



* 13年3月=13年4月1日

棚卸資産・回転月

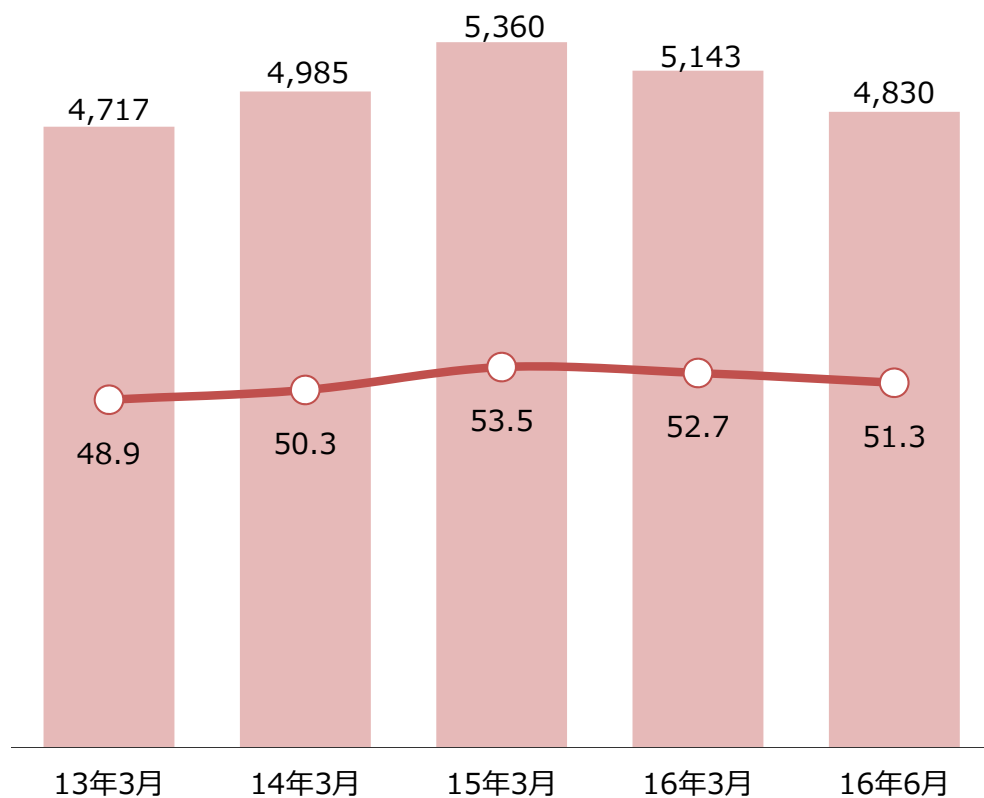
【億円】



* 棚卸資産回転月 = (当期末棚卸資産残高) / (直近3カ月の平均売上原価)
 * 13年3月/14年3月の回転月は日本会計基準

自己資本・自己資本比率

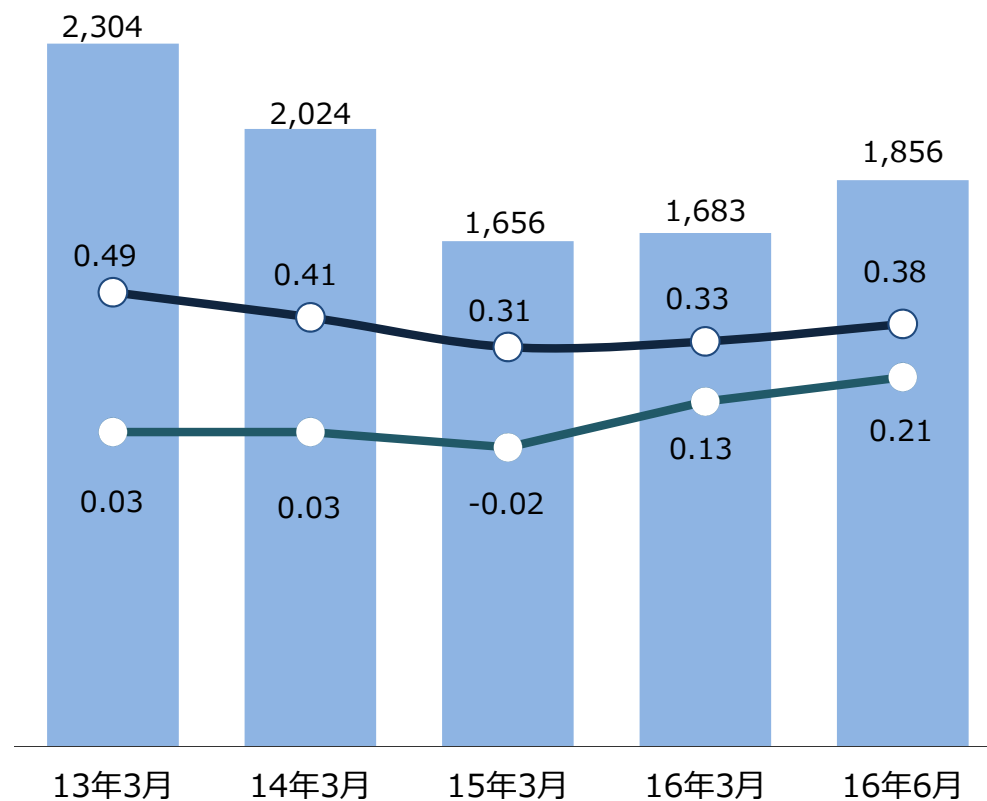
■ 自己資本 ● 自己資本比率



有利子負債・D/Eレシオ

【億円】

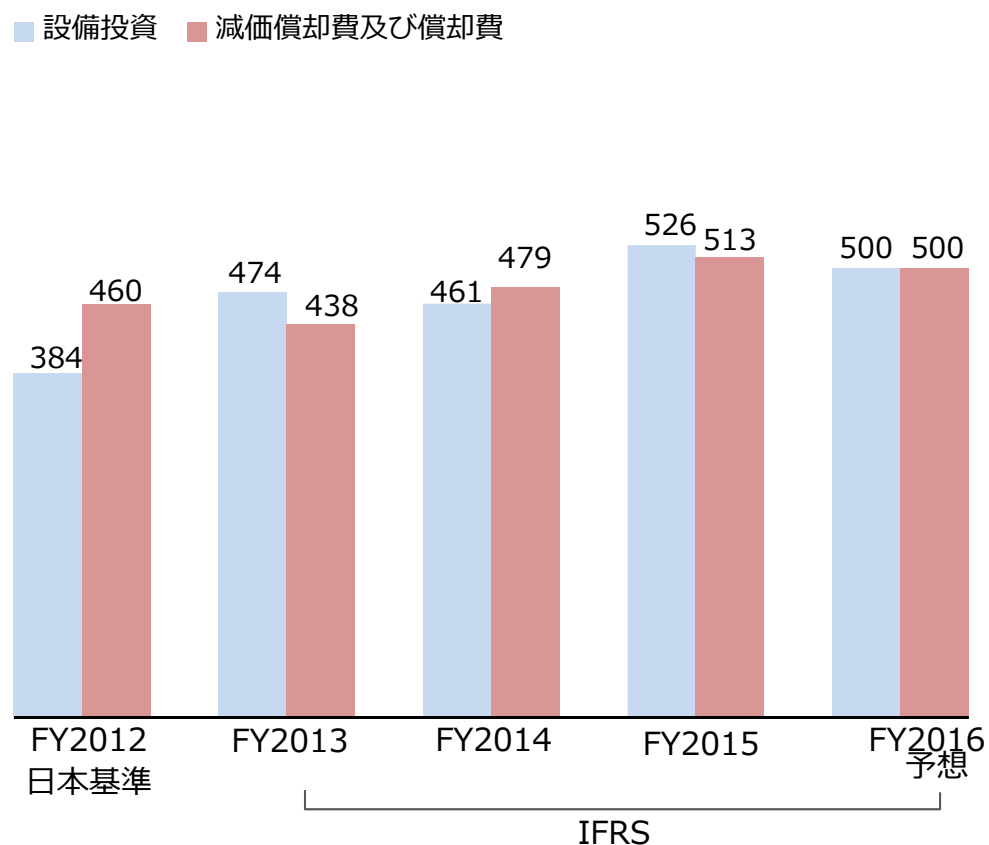
■ 有利子負債 ● D/Eレシオ ● ネットD/Eレシオ



自己資本=親会社の所有者に帰属する持分 自己資本比率=親会社の所有者に帰属する持分/総資本

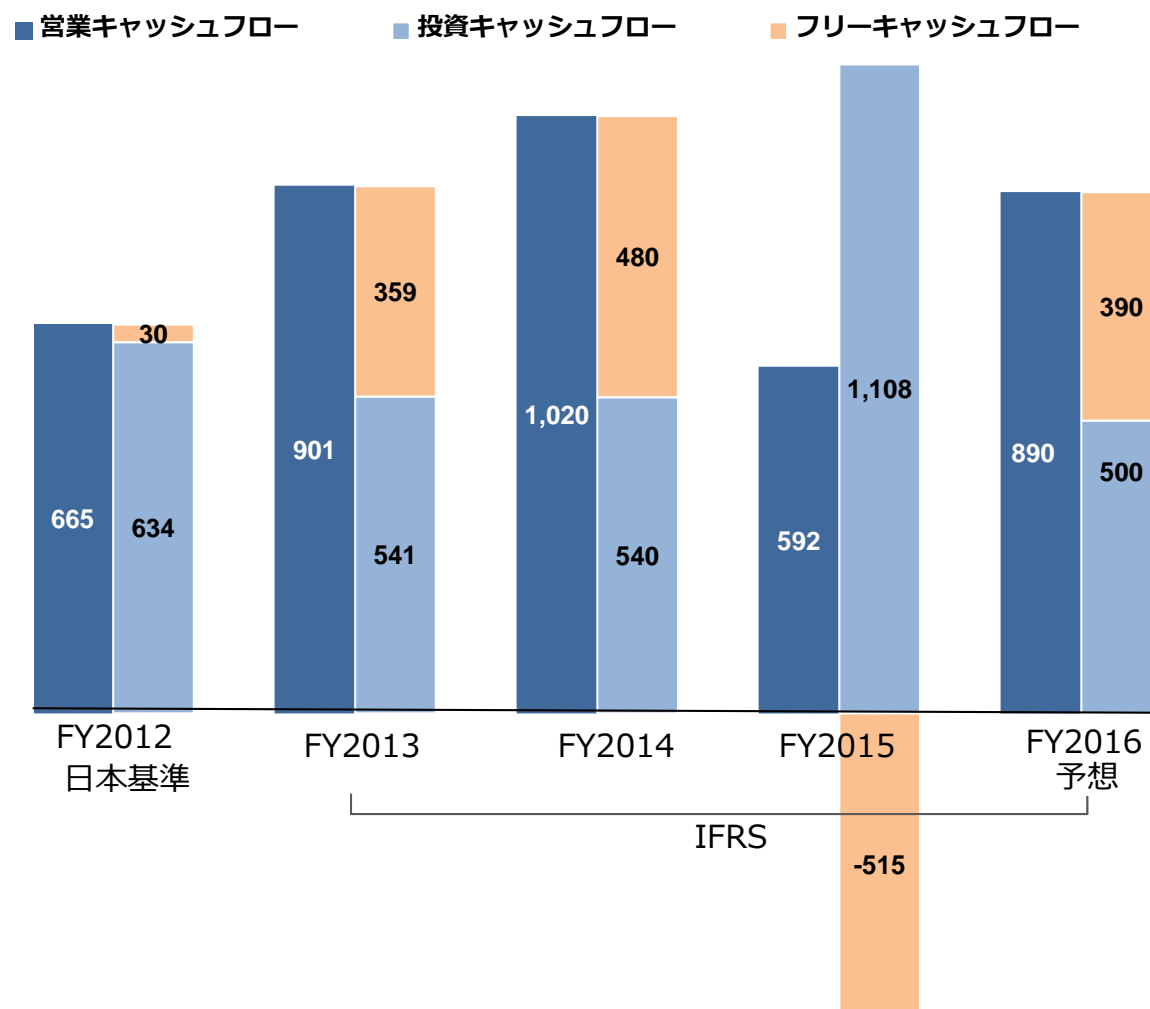
* 13年3月=13年4月1日
© 2016 Konica Minolta, Inc. 28

設備投資・減価償却費及び償却費



フリーキャッシュフロー

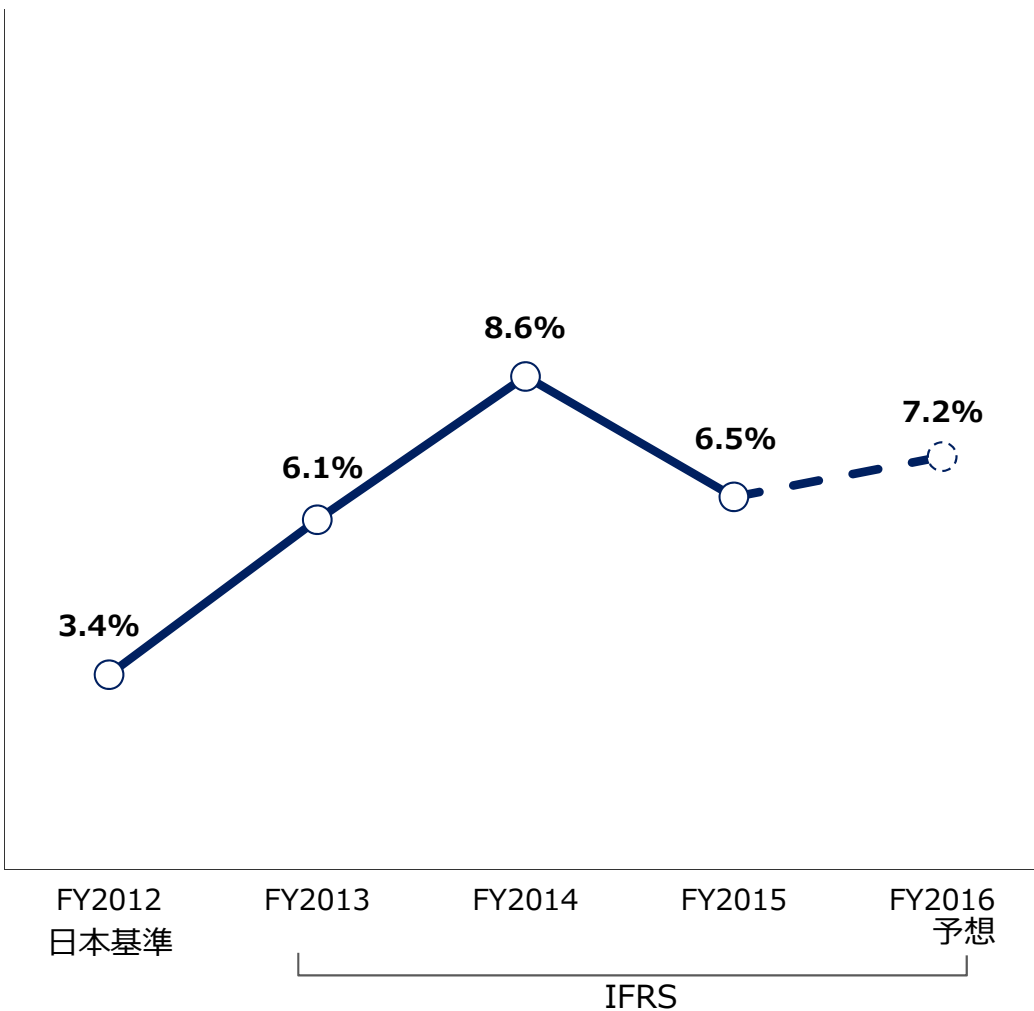
【億円】



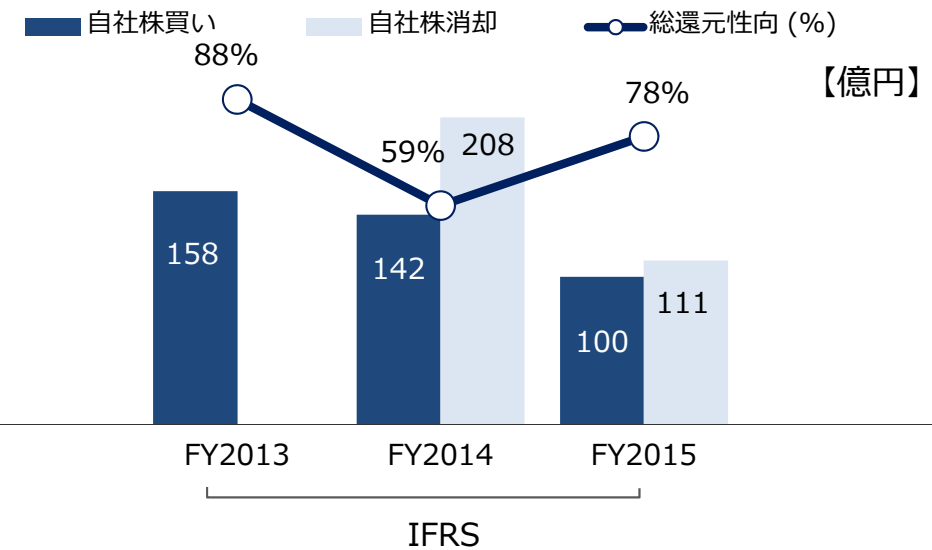
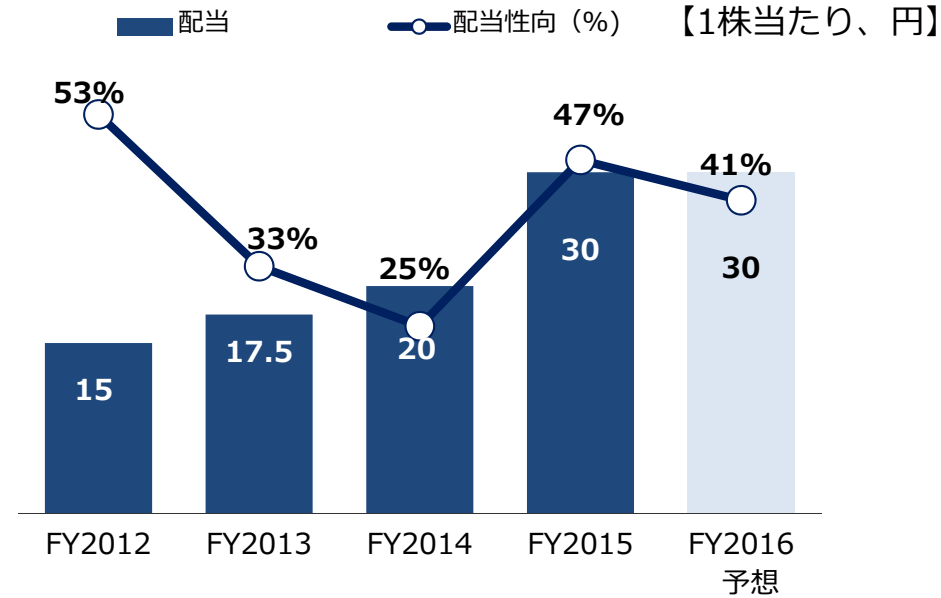
*FCF 16年度予想は投融資を含めない

ROE

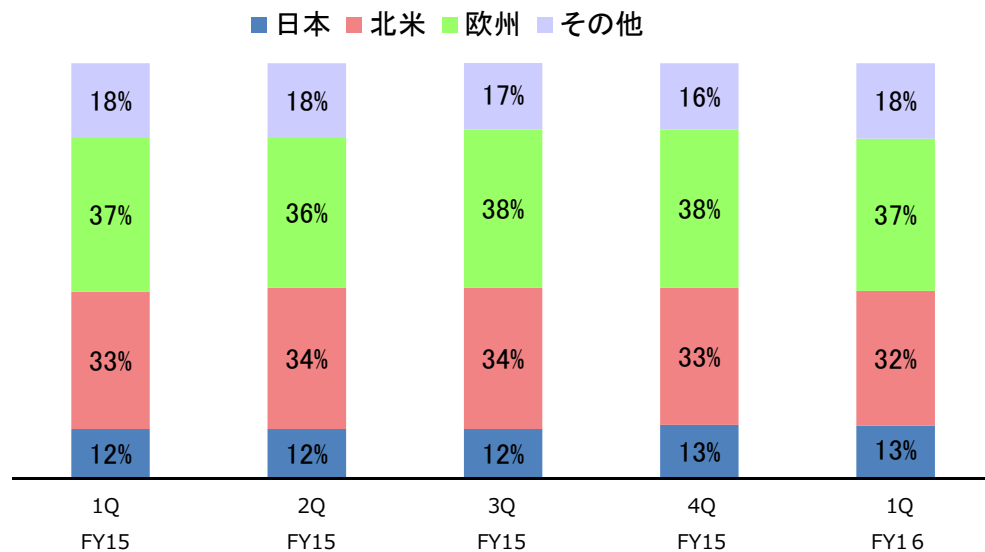
ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計（期首・期末平均）



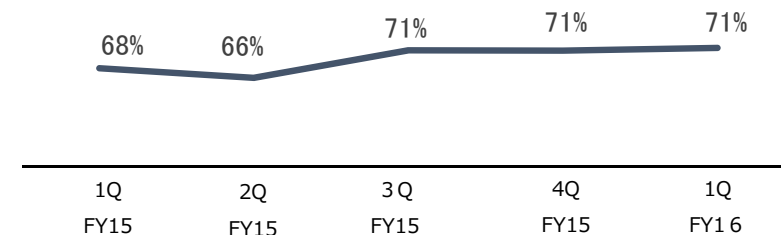
配当・配当性向・自社株買い



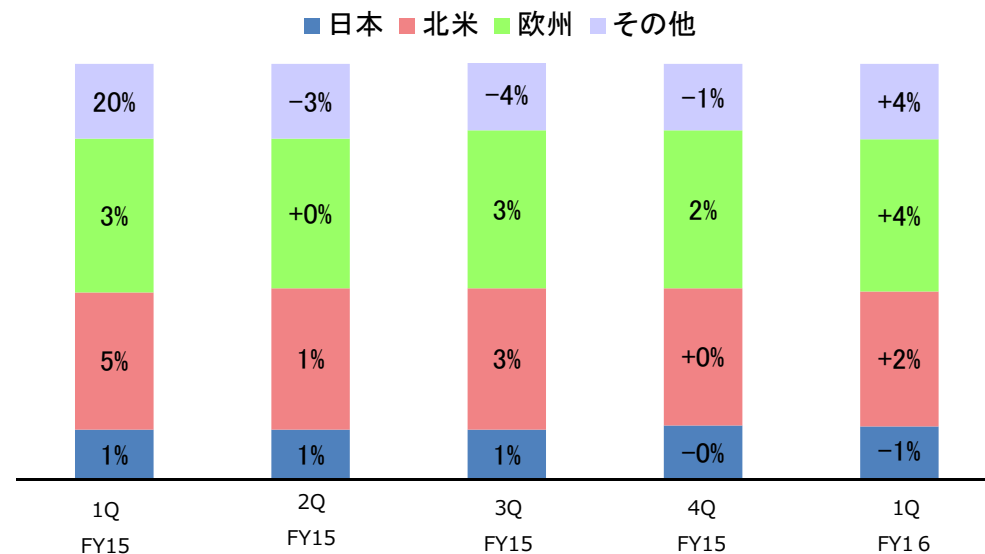
■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）



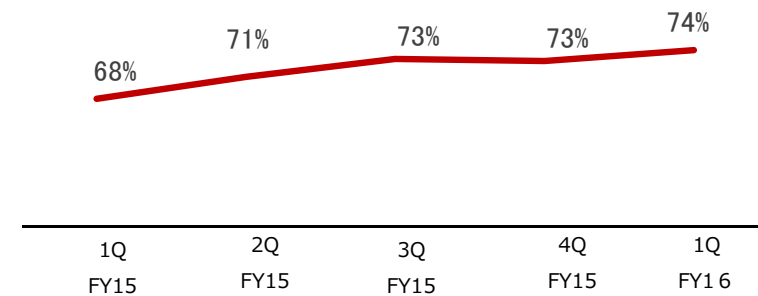
■ ハード売上に占めるカラー比率（オフィス）



■ 地域別売上高増減（為替除く）



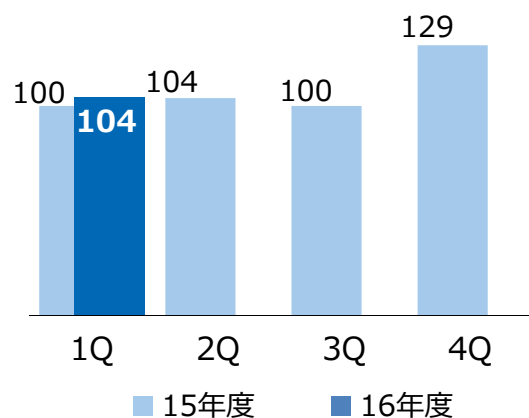
■ ハード売上に占めるカラー比率（PP）



情報機器事業：主要製品販売状況（四半期推移）

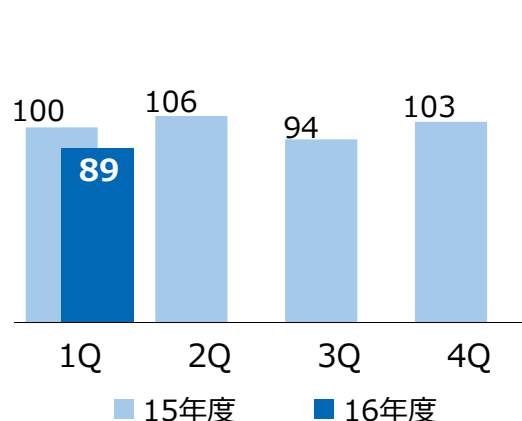
■ A3カラーMFP 販売台数*

YoY : +4%



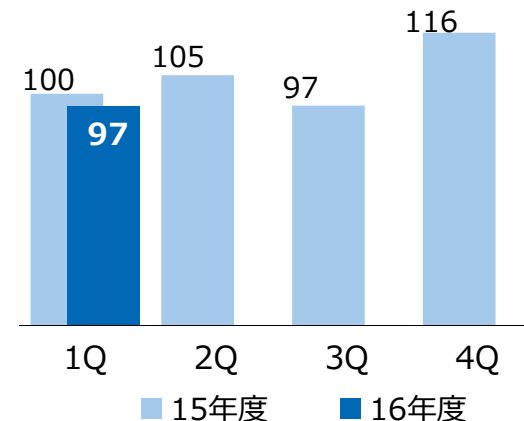
■ A3モノクロMFP販売台数

YoY : △11%



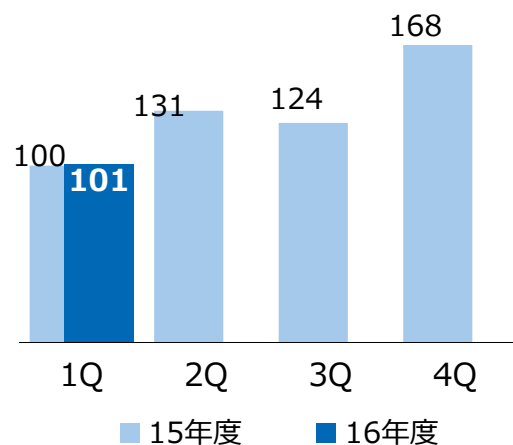
■ A3MFPトータル 販売台数*

YoY : △3%



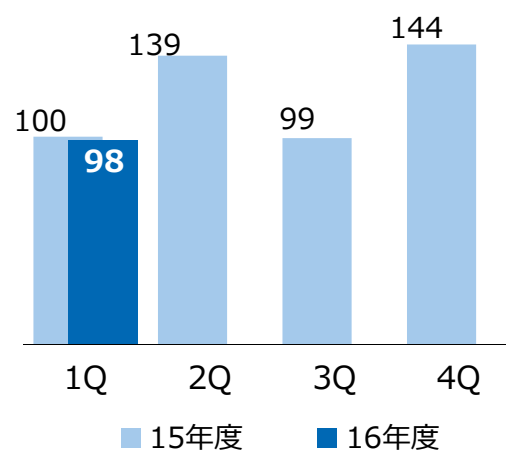
■ カラープロダクションプリント 販売台数*

YoY : +1%



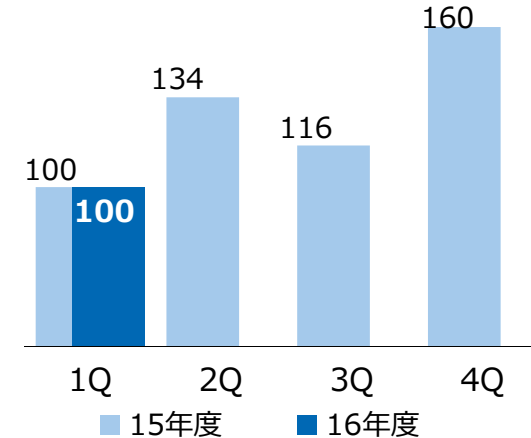
■ モノクロプロダクションプリント販売台数

YoY : △2%



■ プロダクションプリント トータル販売台数

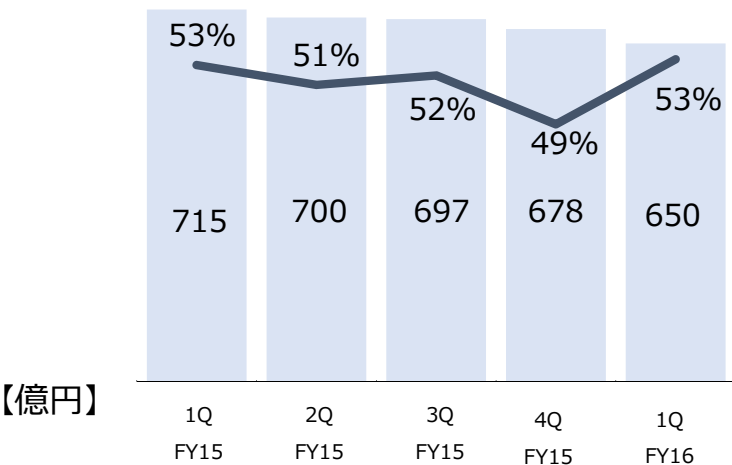
YoY : +0%



情報機器事業：ノンハード売上

ノンハード売上高・ノンハード比率

■ オフィスプロダクト

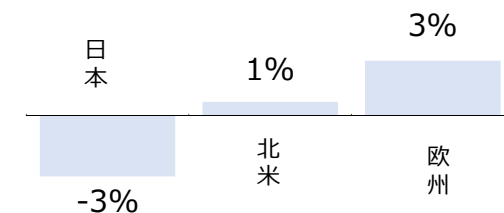
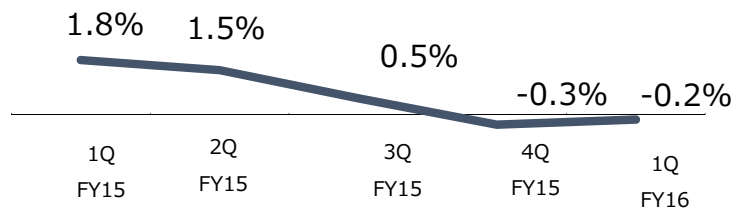


ノンハード売上高前年伸長率

(為替影響除く)

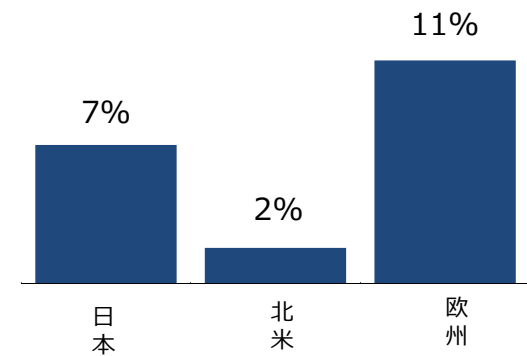
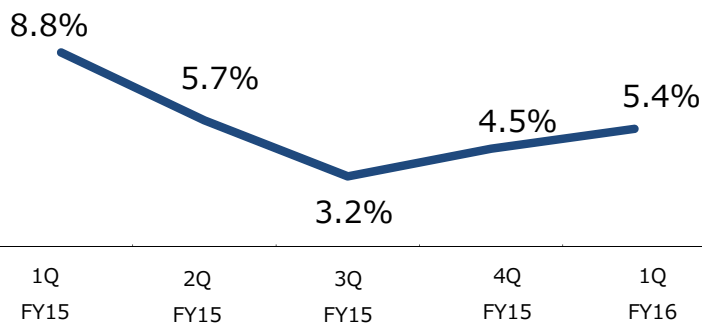
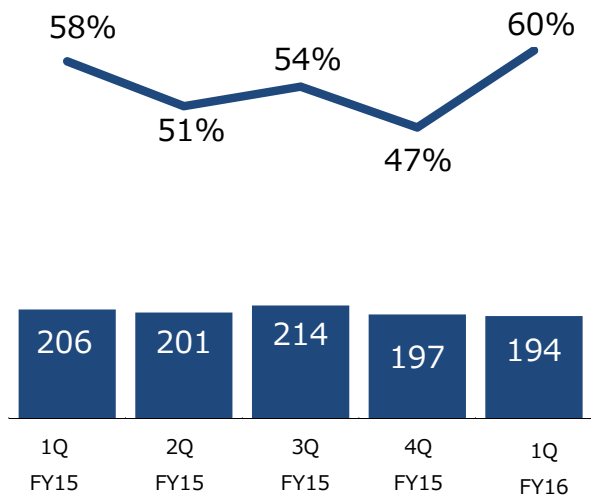
【対前年】

【地域別】



プロダクションプリント

【億円】



OPS: Optimized Print Services (情報機器事業-オフィスサービス分野)

当社のマネージド・プリント・サービス (MPS) の呼び名。お客様のプリント環境 (出力・文書管理の環境) を最適化することで、コスト削減と効率性の向上を図るサービスを提供。

GMA: Global Major Account (情報機器事業)

世界的規模の大手企業顧客 (向けビジネス) のことをいう。

MPM: Marketing Production Management (情報機器事業-商業・産業印刷分野)

ブランドオーナーが製作する販促物のデザインから、印刷、発送、在庫管理までのサプライチェーンの最適化を目指すサービス。

DR: Digital Radiography (ヘルスケア事業)

デジタルレントゲン、デジタルX線ともいう。レントゲン撮影時に人体を透過したX線の強度分布を検出し、これをデジタル信号に変換してコンピューターによる処理を加えてデータ化する手法またはそのためのシステム。

PACS: Picture Archiving and Communication System (ヘルスケア事業)

医療画像処理における画像保存通信システムのこと。DRやCR等のX線写真やCT、MRIなど大量の画像を管理するシステムの総称。

ウィンドウフィルム (産業用材料・機器事業-機能材料分野)

車や建築物の窓ガラスに貼り付ける機能性フィルム。当社製品ICE- μ は、可視光と電磁波の高い透過性と遮熱性を両立する特長を有する。

VMS: Video Management Software (その他)

カメラなどの入力装置とデータを記録するストレージをネットワークで接続し、それらを制御するアプリケーションで構成されている監視カメラシステム。



KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。